宇部工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	国語 I C
科目基礎情報					
科目番号	51003		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	経営情報学科		対象学年	1	
開設期	後期		週時間数	2	
教科書/教材	「精選国語総合 古典編 改訂版」(筑摩書房)、「ステップアップ高校漢字問題集」(東京書籍)、「カラー版新国語便覧」(第一学習社)				
担当教員	畑村 学				
到達目標					
1、漢文訓読のための基本事項(文法、知識)を理解できる。 2、図解の基本的な書き方を理解し、課題に応じた図解ができる。 3、意見文の基本的な書き方を理解し、自分の意見を根拠をもとに述べるができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安(可)	未到達レベルの目安	
評価項目1	漢文訓読の基礎を理解し、テストやレポートで8割以上正答できる。	漢文訓読の基礎を理解し、テストやレポートで7割正答できる。	漢文訓読の基礎を学習し、テストやレポートで6割正答できる。	漢文訓読の基礎を学習し、テストやレポートで6割未満しか正答できない。	
評価項目2	図解の基本的な書き方を理解し、的確に図を利用した複雑な図が書ける。	図解の基本的な書き方を理解し、的確に図を利用した簡単な図が書ける。	図解の基本的な書き方を理解し、簡単な図が書ける。	図解の基本的な書き方を理解しておらず、簡単な図が書けない。	
評価項目3	意見文の基本的な書き方を理解し、説得力のある根拠に基づいた意見文が書ける。	意見文の基本的な書き方を理解し、根拠に基づいた意見文が書ける。	意見文の基本的な書き方を理解し、形式通りの意見文が書ける。	意見文の基本的な書き方を理解しておらず、形式通りの意見文が書けない。	
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	漢文は日本の文化や思想、日本人の精神を形成するのに重要な役割を果たしてきた。今後、グローバルに活躍することを目指す高専生として、教養としてその概要を学んでおく必要がある。また、代表的な漢文や思想教材等を用いて、社会で必要となるコミュニケーションスキルやライティングスキルも学ぶ。				
授業の進め方・方法	訓読の方法については、教科書の教材を繰り返し音読することで習得する。図解は、今後プレゼンテーションやレポートで活用できるようになるために、基本パーツの利用とその応用を学ぶ。意見文については、今後小論文やサポートに活用できるようになるために、所定のフォーマットを用いて基本的な書き方を学ぶ。なお、授業ではペア活動やグループ活動(アクティブ・ラーニング)を積極的に取り入れる。				
注意点	毎時間授業内容を理解していないとできない活動や作業を行う。授業では、ほぼ毎時間プリントを配布するので、プリントを整理するファイル(2つ穴ファイル)を準備しておくこと。				
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス	シラバスを用い、授業の概要、学習到達目標、成績評価方法を理解できる。	
		2週	漢文の読解と図解①	漢文訓読の方法に従って短編の漢文(故事・逸話、詩等)を訓読できる①。 基本的な図解の方法を理解できる①。	
		3週	漢文の読解と図解②	漢文訓読の方法に従って短編の漢文(故事・逸話、詩等)を訓読できる②。 基本的な図解の方法を理解できる②。	
		4週	漢文の読解と図解③	漢文訓読の方法に従って短編の漢文(故事・逸話、詩等)を訓読できる③。 基本的な図解の方法を理解できる③。	
		5週	漢文の読解と図解④	漢文訓読の方法に従って中編の漢文(史記等)を訓読できる④。 基本的な図解の方法を用いて図が書ける④。	
		6週	漢文の読解と図解⑤	漢文訓読の方法に従って中編の漢文(史記等)を訓読できる⑤。 基本的な図解の方法を用いて図が書ける⑤。	
		7週	漢文の読解と図解⑥	漢文訓読の方法に従って中編の漢文(史記等)を訓読できる⑥。 基本的な図解の方法を用いて図が書ける⑥。	
		8週	漢文の読解と図解⑦	漢文訓読の方法に従って中編の漢文(史記等)を訓読できる⑦。 基本的な図解の方法を用いて図が書ける⑦。	
	4thQ	9週	漢文と意見文①	漢文訓読の方法に従って思想教材等の内容を理解できる①。 基本的な意見文の書き方を理解できる①。	
		10週	漢文と意見文②	漢文訓読の方法に従って思想教材等の内容を理解できる②。 難易度が低レベルの条件で意見文を書くことができる①。	
		11週	漢文と意見文③	漢文訓読の方法に従って思想教材等の内容を理解できる③。 難易度が低レベルの条件で意見文を書くことができる②。	

		12週	漢文と意見文④	漢文訓読の方法に従って思想教材等の内容を理解できる④。 難易度が中レベルの条件で意見文を書くことができる①。
		13週	漢文と意見文⑤	漢文訓読の方法に従って思想教材等の内容を理解できる⑤。 難易度が中レベルの条件で意見文を書くことができる②。
		14週	漢文と意見文⑥	漢文訓読の方法に従って思想教材等の内容を理解できる⑥。 難易度が高レベルの条件で意見文を書くことができる。
		15週	定期試験	
		16週	試験返却・解説・全体の振り返り	試験解説により授業内容の理解をさらに深めることができる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	3	
			論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べるができる。	3	
			文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べるができる。	3	
			常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	
			類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3	
			社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	3	
			課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	2	
			相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	3	
		新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	2		

評価割合

	試験	レポート	合計
総合評価割合	60	40	100
知識の基本的な理解	40	20	60
思考・推論・創造への適用力	20	20	40
汎用的技能	0	0	0
態度・志向性(人間力)	0	0	0
総合的な学習経験と創造的思考力	0	0	0